

地方】

(第3種郵便物認可)

岩

防災や復興の在り方などについて意見を出し合う
花北青雲の生徒と大阪府の高校生



震災復興思い共有

花北青雲高 大阪の高校生と討議

大阪府高校校外学習研究会(中井孝典会長)と東北観光推進機構(高橋宏明会長)が主催する「大阪・東北高校生交流事業」は24日、花巻市石鳥谷町の花北青雲高校で行われた。大阪府の高校生と花北青雲の生徒が被災地支援や災害に強い地域づくりなどについて意見交換し、東日本大震災からの復興への思いを共有した。

大阪の高校生を対象とした復興学習の一環で、22日から2泊3日の日程で本県と宮城県の被災地や高校を視察し、自然災害への対処を考えてもらおうと初めて実施。24日は府内10校から21人が訪れ、同校総合生活科3年生20人が出迎えた。

花北青雲の生徒が震災発生当時の状況や現在取り組んでいるボランティア活動などを紹介した後、7班に分かれてディスカッションを実施。生徒たちは「インフラがストップした時に必要だと考えた救済物資は何か」

「大阪では震災のことをまだ報道しているか」などお互いに質問や情報を出し合い、討議した結果を集約して復興に対する考えを発表していた。

府立北野高1年の井野川七虹さんは「大阪はまだ防災意識が低いので、帰ったらきょう学んだことを広く伝えていきたい」と充実した表情を浮かべていた。

花北青雲高の渡邊百香さんは「大阪の高校生と触れ合う機会はないので、良い機会になった。地震の対策や今までの支援活動のことを伝えることができ良かった」と話していた。